

2026（令和8）年度 FD 関連活動計画

1. FD支援プログラム

(1) 公募プロジェクト

組織的FDの推進・実質化が図れる見込みがある諸活動。

(教育方法の改善に関する諸活動、教育開発に関する諸活動等)

※経費支援：最大5件（20万円/1件）

(2) 指定プロジェクト

テーマ策定・メンバー公募(応募がなかった場合のメンバー選定含む)等をFD委員長に一任（まとまり次第FD委員会へ報告）。

※経費支援：50万円（研修会費用及び他大学の調査旅費等）

2. 初年次教育に関する実践と学修成果の把握

(1) フレッシュマンテストの実施

昨年度と同様に、希望する学科で実施する。

(2) 授業についてのアンケート実施（前期・後期）

前年度と同様に、年2回実施する。

(3) 学習目標の「何を学び、身に付けることができるのか」を意識した成績評価におけるルーブリックの導入及び活用（2026年度事業計画）

令和6年度に指定プロジェクトとして取り組んだ共通科目の外国語（英語以外）科目群におけるルーブリックの作成・共有に続き、令和7年度は外国語（英語）科目群における検討を進めた。令和8年度も引き続き外国語（英語）科目群における検討を続けながら、全学的に共有可能であるかを模索していく。

(4) 学修成果と自己成長を振り返ることを意識した授業アンケートの見直し(2026年度事業計画)

令和7年度指定プロジェクトで取り組んだ「授業についてのアンケート」における結果及び課題を踏まえ、見直し後のアンケート実施に向けた改善点等を引き続き検討していくことで、さらなる学修成果の可視化の在り方について検証していく。

(5) 学修ポートフォリオの構築（2026年度事業計画）

ルーブリック評価の実現および授業アンケートの見直し等と連動し、学修ポートフォリオの運用やルーブリック評価の在り方について検討する。

3. TA・SA事業

(1) TA・SA制度（2026年度事業計画）

受講学生と教育支援者(TA・SA)の相互の学びに繋げるべく、令和7年度に行った運用方法の見直しを踏まえて、令和8年度は同制度の更なる点検と改善を図る。

4. 全学的な情報共有に向けたFD研修会等

- (1) 公募及び指定プロジェクトからの要請に基づく研修会を開催する。
- (2) 公募及び指定プロジェクトの成果報告会を開催する。
- (3) 中教審答申等の政策動向を踏まえた教育の質的改善に向けて、研修会や講演会等を開催する。
- (4) その他、FDに資する情報について積極的に発信する。